



総合資料館だより

開館 50 周年記念号 2013. 10. 1 No. 177



総合資料館開館50周年にあたって

京都府知事 山田 啓二

京都府立総合資料館は、この度、開館50周年を迎えることになりました。当館は、京都に関する歴史、文化、産業、生活等の諸資料を総合的に収集・保存し、展示して、府民の皆様の調査研究等に御利用いただくことを目的として、昭和38（1963）年11月15日に開館いたしました。

以来、図書館・文書館・博物館の3つの機能を有する総合的な施設として御利用いただいております。昭和63年の京都文化博物館の開館を機に、美術工芸、歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示については、同博物館を運営する京都文化財団へ業務委託を行い、更に平成13年には、府立図書館の新築開館に合わせて、同図書館への図書資料の一部移管を行うなど機能分担を図り、現在では京都の歴史、文化、産業、生活等の諸資料を重点的に収集・保存する「京都に関する専門資料館」としての役割を担っているところであります。

当館の所蔵資料は、図書、古文書、行政文書、美術工芸品、写真資料、近代文学資料など約62万点に及ぶ、国宝や重要文化財を含む大変貴重な文化的資料であり、これまで御寄贈いただいた多くの方々に深く感謝申し上げます。

これらの資料は、日常の閲覧や展示、講演、出版物、インターネットなどにより広く公開するとともに、府民講座、古文書入門教室、歴史資料解説講座などの生涯学習の場においても御利用いただいております。開館以来の延べ利用者数は900万人を超えております。

一方、開館から50年を経て、施設の老朽化は否めず、総合資料館のあるべき機能や当館を取り巻く環境の変化等を踏まえ、外部委員による御意見を伺いながら北山文化環境ゾーンにおける新しい資料館の整備検討を続けてまいりました。そして、府立大学（文学部・附属図書館）との機能連携のもと、国際京都学センターの新たな設置など京都に関する資料の収集・保存・利用提供から、調査・研究支援、生涯学習支援、次世代教育支援まで、京都の歴史・文化についての研究・学びを支援し、情報を発信する拠点となることを新施設のコンセプトとして、本年7月から、新総合資料館（仮称）の建設に着工いたしました。

また、本年5月には、当館所蔵の国宝「東寺百合文書」が、記憶遺産の登録候補として日本ユネスコ国内委員会ユネスコ記憶遺産選考委員会から推薦されることに決定しました。平成27年5月頃に予定されておりますユネスコ記憶遺産国際諮問委員会の審査での登録決定に向けて、現在、推薦手続の準備を進めております。引き続き、「東寺百合文書」に関する展覧会や講演会、翻刻史料の刊行等の普及事業を実施するとともに、デジタル化への取組を積極的に推進し、国内外に広く発信してまいります。

新総合資料館（仮称）のオープンに向け、ハード・ソフトの両面におきまして、更なる機能の充実を図り、府民の皆様のお期待に応え得る施設となりますよう準備を進めてまいりますので、なお一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

目次	総合資料館開館50周年にあたって	1	古文書入門教室	9
	総合資料館この10年の歩み	2	最近の収集資料から(平成25年6月～8月)	10
	開館50周年記念シンポジウム	4	友の会事務局から、日誌、利用案内	12
	開館50周年記念企画展	5		

平成16年

3月 『東寺百合文書』翻刻出版開始

(株)思文閣出版から発行。この後、平成24年度まで各年度1冊ずつ、10冊を刊行。

4月 京都北山アーカイブズ公開開始

総合資料館所蔵資料データベースである「京都北山アーカイブズ」を公開。初年度は約7千点を公開し、その後2年度で合計約2万点のデジタル画像を公開した。



▲京都北山アーカイブズ トップ画面

平成17年

10月 図書館システムの更新

図書目録をデータ化して以来、初の図書館システムの更新。5年後の平成22年にも更新。

平成18年

10月 メールマガジンを創刊

隔週水曜日にお知らせやコラム、新着資料の案内を掲載。

平成19年

3月 京都新聞で連載開始

「雑学京都史」と「古典籍をあじわう」の連載開始。（「古典籍をあじわう」は、その後「古典籍へようこそ」「遊びをせんとや」とタイトル変更）

12月 「総合資料館あり方検討プラン」策定

5月から7回にわたり検討委員会を実施し、総合資料館の果たすべき役割・機能の方向性を盛り込んだ「総合資料館あり方検討プラン」を策定。

平成20年

7月 寺子屋講座開始

次世代教育支援事業として「みよう！さわろう！昔の京都」を実施。以後、本事業は寺子屋講座という名称を使用。



▲平成23年「飲んで！学んで！宇治茶」より

平成21年

1月 京都市内市町村史目次集を公開

平成18年度京都府立大学地域貢献型研究（ACTR）の成果の提供を受け、公開。

3月 「総合資料館基本構想」策定

「総合資料館あり方検討プラン」の基本コンセプト具体化に向けた「総合資料館基本構想」を策定。

3月 「古久保家文書」が府指定有形文化財に指定

3月 総合資料館・府立大学・植物園包括協定を締結

北山・下鴨地域で発展してきた3施設が、相互に交流し、緊密に連携を図りながら、それぞれの特徴を生かし、地域や社会に一層の貢献を行うことを目的に「連携に関する包括協定」を締結。

結。秋には包括協定締結記念事業「北山から未来へ」を開催。



8月 「古文書入門教室」等を開始

「古文書解読講座」を再編し、「古文書入門教室」と「歴史資料カレッジ」として開始。

10月 「北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告」公表

新資料館の、府立大学文学部や附属図書館等との合同整備と、新資料館と府立大学との連携強化の具体的方策として「国際京都学センター」の設置等が提示される。

平成22年

5月 『「北山文化環境ゾーン整備委員会」における検討状況について』を公表

合同整備される新施設の機能と建設予定地、「北山文化環境ゾーン未来図」を公表。

11月 書籍『古典籍へようこそー京都府立総合資料館の書庫からー』を京都新聞出版センターより刊行

11月 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 全国（京都）大会開催

総会において当館井口館長（当時）が次期会長に選出される。

平成23年

4月 画像データ閲覧システム「京の記憶ライブラリ」を公開

総務省の地域活性化交付金（住民生活に光をそそぐ交付金）を活用し、約10,000点の資料をデジタル化し、「京の記憶ライブラリ」として公

開。7月にインターネット公開。

10月 新総合資料館（仮称）設計業者決定

京都府新総合資料館（仮称）公募型設計競技の最優秀者に飯田善彦氏が決定。

10月 国民文化祭・京都2011開催記念企画展「目で見ると感じる京都の今昔-写真でたどる京都の変遷-」を開催

平成24年

3月 新総合資料館（仮称）基本設計完了

10月 「京都学へのいざない講座ー京都力を探るー」を開始

新総合資料館・国際京都学センター設立へ向けて連続講座を開催。

11月 国際京都学センター準備室（仮）が「本づくりプロジェクト」を実施

12月 「国立公文書館所蔵資料展 公文書の世界in京都」を開催

全国初の国立公文書館所蔵資料の館外展示を総合資料館で開催。

12月 国際京都学シンポジウムを開催

12月 新総合資料館（仮称）実施設計完了

平成25年

1月 「東寺百合文書」全点のデジタル画像化を開始

3月 「地域の歴史を学び未来へ伝えるシンポジウム」を開催

3月 「歴史資料カレッジ」を終了し、「歴史資料解読講座」を開始

5月 「東寺百合文書」がユネスコ記憶遺産の登録候補として推薦決定

新館情報

7月 新総合資料館（仮称）の主体工事着工

6月定例府議会で議決後（7月4日）、契約・着工。

ユネスコ記憶遺産推薦決定

国際京都学シンポジウム

東寺百合文書のこれから — ユネスコ記憶遺産に向かって —

入場無料

京都府立総合資料館所蔵の国宝「東寺百合文書」が、平成26年3月にユネスコ記憶遺産に正式推薦されることを受け、東寺百合文書の学術的価値を国内外に紹介し、ユネスコ記憶遺産推薦への機運を盛り上げるシンポジウムを開催します。

- 日 時 平成25年10月14日（月・祝）午後1時～5時
- 会 場 京都府立大学 合同講義室棟 第3講義室 〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5
- 定 員 300名（申込不要）※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

○ 基調講演

ユネスコ記憶遺産と東寺百合文書 高埜利彦氏（日本学術会議会員・学習院大学教授）

○ 報告

- ① 東寺百合文書の概要 小森浩一（京都府立総合資料館職員）
- ② 東寺百合文書と日本中世史 久留島典子氏（東京大学史料編纂所所長）
- ③ 東寺百合文書の調査と管理 富田正弘氏（富山大学名誉教授・元京都府立総合資料館職員）

○ ディスカッション

司会：井口和起（京都府特別参与）

総合資料館の50年と未来

入場無料

平成25年は、京都府立総合資料館が開館した昭和38年から50年の節目の年であるとともに新たな総合資料館の施設着工の年であることから、50年のあゆみを振り返りながら、総合資料館の新たな魅力を発信するシンポジウムを開催します。

- 日 時 平成25年11月16日（土）午前10時30分～午後5時（※開館記念日：平成25年11月15日（金））
- 会 場 京都府職員研修・研究支援センター 大講義室
〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-10
- 定 員 200名（申込不要）※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

○ 基調講演

文化資源の保存・活用のために 吉見俊哉氏（東京大学副学長）

○ 報告

- ① 文化資源保存の重要性—マンガ研究の立場から— 吉村和真氏（京都精華大学マンガ学部長）
- ② 総合資料館の実力 松田万智子・岡本隆明（京都府立総合資料館職員）
- ③ 総合資料館の50年と新館構想 井口和起（京都府特別参与）
- ④ 新資料館と国際京都学センターに望むこと 長尾真氏（京都大学名誉教授）

○ ディスカッション

◆ ポスターセッション

館のあゆみ・百合文書・貴重書・地蔵プロジェクトほか

いずれも入場無料

東寺百合文書展	<p>平成25年度 東寺百合文書展</p> <p>10月12日(土)～11月10日(日)</p> <p>列品解説 2階展示室</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 10月19日(土) 午後2時～ ／橋本初子氏(京都精華大学名誉教授) ◇ 10月26日(土) 午後2時～ ／岡本隆明(総合資料館職員) 	みんなで作る50年史	<p>みんなで作る50年史</p> <p>10月12日(土) ？ 12月15日(日)</p> <p>*11月11日～13日を除く</p> <p>建物解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 11月28日(木) 午後2時～ <p>〈集合場所〉 1階中央玄関付近</p>
資料にぞくっ！	<p>資料にぞくっ！</p> <p>～昭和で25年・平成で25年を所蔵品でふりかえる～</p> <p>11月14日(木)～12月15日(日)</p> <p>列品解説 2階展示室</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 11月21日(木) 午後2時～ ◇ 12月 5日(木) 午後2時～ 		<ul style="list-style-type: none"> ・総合資料館開館50周年記念企画展はいずれも入場無料です。 ・会期中の展示は、午前9時から午後4時30分まで開催しています。

展示期間中の休館日：10月14日、11月4日・13日・23日、12月11日
 *10月14日 午前9時～午後1時：展示室のみ特別開室
 なお、当日は、車での来館はご遠慮ください。公共交通機関をご利用ください。

総合資料館開館50周年記念企画展 その1

ユネスコ記憶遺産推薦決定記念

平成25年度 東寺百合文書展

当館が所蔵する東寺百合文書(とうじひやくごうもんじょ)が、国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)の記憶遺産の候補として推薦されることになりました。

東寺百合文書は、東寺という大きな組織が平安時代以降長年にわたって活動するなかで蓄積してきた2万点近い文書の集まりです。日本の中世において、人々が何を考え、どのようなことをしていたのかを探ろうとするときには欠かせないものであり、ユネスコの記憶遺産として国内だけでなく、国際的な評価を受けるのにふさわしい資料です。

今回の展示では、皆さんに親しみのある著名

な文書をおりませつつ、百合文書が時代の変化をくぐり抜けて今に伝えられた、まさに「遺産」であることを感じていただけることを目指しています。

国際京都学シンポジウム
 「東寺百合文書のこれから
 -ユネスコ記憶遺産に向かって-」

日時：10月14日(月・祝)午後1時～5時
 会場：京都府立大学

合同講義室棟 第3講義室
 * 10月14日はシンポジウムの前に展示をご覧いただけるように、午前9時から午後1時まで展示室のみ開室します。



資料にぞくっ!



～昭和で25年・平成で25年を所蔵品でふりかえる～

その2の企画では、館蔵資料・寄託資料の中から、次の3つの小テーマを設けて陳列します。第1は、近年、特別撮影や貸与等により利活用された資料から興味深いものを取り上げて紹介します。第2は、この数年間の展示会において実施したアンケートで、今後希望する展示会としてお聞きした内容から、それに合致する資料を展示します。第3は総合資料館長、顧問、展示担当職員が選ぶお薦めの一品を展示します。

■利活用された資料から

総合資料館の所蔵資料は、閲覧室で手に取って調べるだけでなく、いろいろな利用の仕方があります。図版を図書類に掲載する、テレビ放送に利用する、博物館・美術館の展示に貸出するなどが一般的な利活用の仕方です。近年では、データをホームページ等に提示していますので、来館いただかなくても自宅から見ていただけるものもあります。

図書掲載についても、いろいろな図書類があります。学術書、論文掲載、市町村史、展示会図録、新聞掲載、商業出版物、自費出版などが大半ですが、学習参考書、塾の模試問題、伝統食品の復元資料などという利用もありました。

■アンケート・リクエスト資料から

資料館では毎年、収蔵品展・企画展等の展示を開催しています。そのたびにお客様アンケートを実施し、希望する展示会の内容などを伺っています。希望される資料は、内容・形態・時代ともに多岐にわたります。また、その時々々の企画に関連する資料を希望される傾向があります。残念ながら、所蔵資料の関係で十分に希望を叶えることは難しいのですが、今回は少しでも希望に沿った資料を展示しようと試みました。

また、7月に展示希望作品のリクエストを募集した中から、希望のあった資料を展示します。



◀ 布令書 (京都府行政文書)

明治元年に発行された京都府札の雛形が張り込まれた府庁文書。



▲ 河州交野郡楠葉村関門絵図 (川々御普請定法書)

江戸時代末期に幕府が整備した台場（砲台を設置する所）。淀川中流の楠葉の図面が貼付されています。



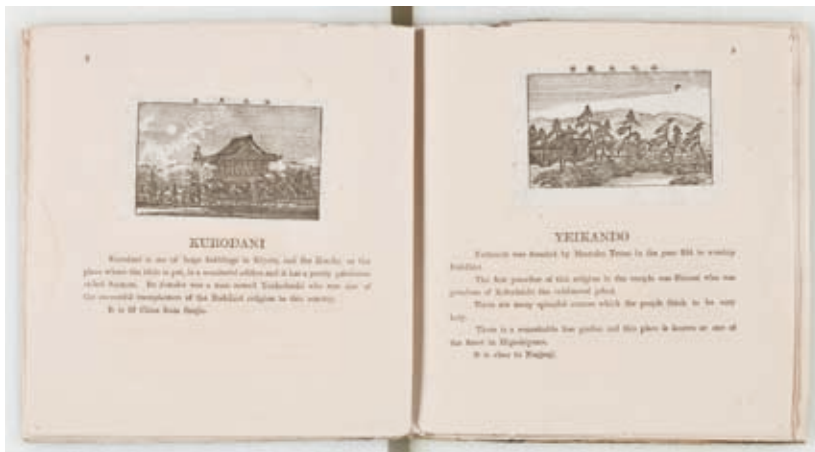
◀ 英学校及女紅場 (旧一号書庫写真資料)

山本覚馬らの進言により設置された女性を対象の学校。大河ドラマ関連出版物で活用されました。

▶ 百華の帯 (「天眠文庫」資料/寄託)

与謝野寛・晶子夫妻の長男光と、小林天眠三女の迪子の婚約に際して、結納として贈られた帯で、晶子が見立てたもの。





▲ The guide to the celebrated places in Kiyoto & the surrounding places for the foreign visitors

外国人向けに作られた初の英文京都案内。原稿は山本覚馬、活字の植字は山本八重らによります。



▲ 日新館童子訓

会津藩の藩校日新館で出版された書籍で、「会津京都文庫」の蔵書印があります。



◀ 流離抄歌板巻 (吉井勇資料)

歌人吉井勇の歌を版画家棟方志功が作品化したもの。



▶ 雛三

(『観方創作版画集 第壹集』より)
吉川観方の版画作品。舞妓の雛三の納涼姿を描いています。

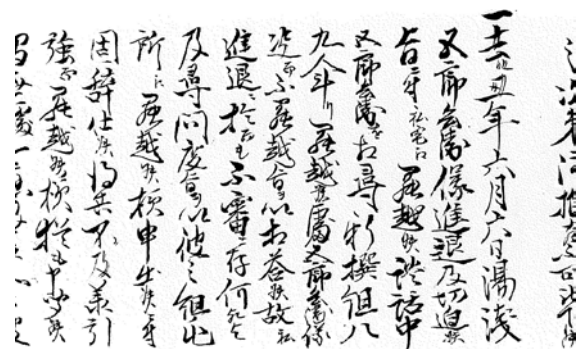
■ 職員推薦資料から

資料館には数多くの資料があり、職員は日々、その整理・出納などに携わっています。その中で、是非、府民や利用者の皆様に見ていただきたいと思う資料にも出会います。今回の展示では、そのような資料を選び、見ていただこうと思います。

資料館長のお薦めは、今年新たに寄贈をいただきました「上野家文書」から選びました。資料館顧問のお薦めは、顧問が長年にわたり研究対象として向かい合ってきた日露戦争に関するものです。その他の職員の推薦は、それぞれの担当分野における専門とする資料、価値を再発見した資料などです。是非、御高覧いただければと思います。

▶ 建保六年八月御歌会絵巻 (貴重書)

順徳天皇が即位後初めて清涼殿で催された公式の詩歌・管弦の儀式(中殿御会)の絵。



▲ 革嶋有尚答申状 (革嶋家文書)

幕末に熊本藩からのお尋ねについて内報したものの。新選組との関連などが記されています。





みんなで作る50年史



併設の企画では、資料館の50年間を物語る資料の展示と、「みんなで作る50年史」と題する企画を行います。

資料館の50年前を語る資料として、開館時の建物模型、建築中の写真、当時使われていた電話、図書の代本板などを展示します。現在の1階休憩室のところにあった食堂で使われていた食卓机・椅子の現物も見ものです。50年目の資料としては、現在進行中の新資料館の計画模型等を展示します。



◀ ダイヤル式電話

開館時に使われていた電話。昭和38年、日立製。

「みんなで作る50年史」年表は、昭和38年（1963）から平成25年（2013）までの資料館・社会の出来事が書かれた年表に来館者の皆様方からの思い出を書き込んで貼っていただき、年表を完成させる試みです。資料館の50年と社会の50年、参加者の人生の50年とを重ねていただき、振り返っていただくとするものです。



◀ 京都府立総合資料館 全景写真

開館4日前、完成に向けて最後の作業が行われています。



◀ スナック国際の広告

資料館内にあった食堂の広告。開館の翌年1月に開かれた「婦人と子ども風俗展」目録の裏面。



◀ 資料館のリーフレット

開館時のものから現在のものまで。

▶ 展覧会ポスター

開館翌年の吉川観方コレクション「浮世絵総合展」のポスター。



平成25年度「古文書入門教室」を開催します！

博物館や資料館に展示されている古文書のくずし字を見た時「読めたらなあ…」
と思ったことはありませんか？あるいは、なぜ昔の人の書く文字と現代の人の書く
文字は違うのだろう、と疑問に思ったことはありませんか？

古文書入門教室は、そのような思いを持った方を応援するための講座です。
本講座をステップに古文書の世界へ第一歩を踏み出してみませんか？

平成21年度から開催しております「古文書入門教室」では、初心者の方を対象と
して比較的平易な文書の解読と古文書に関する基礎知識の解説を行います。今年度
も、昨年度に引き続き京都府立大学を会場にして、当館の中世・近世の文書担当職
員がお話いたします。

多数の皆様のご参加をお待ちしています。

- 日 時 平成25年12月24日(火)、25日(水)、26日(木)
3日間通しての連続講座です(1・2日目は近世、3日目は中世)
各日とも午後2時～4時
 - 講 師 辻真澄、岡本隆明(ともに総合資料館職員)
 - 内 容 中世・近世の文書を読む
 - 会 場 京都府立大学 大学会館2階
 - 受講料 無料(当日レジュメを配付)
 - 定 員 120名
 - お申込み受付期間 平成25年11月18日(月)～29日(金)[当日消印有効]
 - お申込み方法
往復はがきに①住所、②氏名(ふりがな)、③電話番号、④これまでに本講座を受講した回数をご記入の上、受付期間中に下記宛先までお申込みください。
なお、往復はがき以外でのお申込みは受け付けておりません。
申込み者多数の場合は、はじめて受講される方を優先させていただきます(場合により当館において抽選を行うこともあります)。お申込みの方全員に、はがきの返信で受講の可否をお知らせいたします。
今回お寄せいただいた個人情報は本講座の運営・管理以外の目的には使用いたしません。
 - お申込み先・お問合せ先
〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-4
京都府立総合資料館 歴史資料課「古文書入門教室」係
TEL 075-723-4834
- * 会場には一般向け駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。
(特別ご事情のある方は、あらかじめご連絡ください)

※ なお本年度も、「歴史資料解読講座」の開催を予定しています。

こちらにつきましても、内容が決まり次第、当館ホームページ、チラシ・ポスター、府民だより、資料館だより、当館メルマガなどで順次ご案内する予定です。



最近の収集資料から（平成25年6月～8月）



◆図書資料

〈京都〉

岩屋神社史 『岩屋神社史』編纂委員会編 つむぎ出版 2013 543p 図版16p

淀・水垂・大下津の環境と歴史・民俗 2012年度地域調査演習報告書 佛教大学歴史学部[編]刊 2013 96p

相楽歴史散歩 山城ライオンズクラブ50周年記念誌 山城郷土資料館編刊 2013 76p 寄贈

下大久保区誌 下大久保区誌編纂委員会編刊 2013 229p 寄贈

八重の桜 2013年NHK大河ドラマ特別展 NHK編刊 NHKプロモーション編刊 2013 198p

百人百景 京都市岡崎 村松伸編 京都・岡崎「百人百景」実行委員会編 京都通信社 2013 96p (シリーズ人と風と景と)

活動の記録 平成22・23年度 京都大学大学院法学研究科附属法政実務交流センター[編]刊 2013 89p 寄贈

みんなの京都市動物園 京都市動物園110周年記念誌 京都市動物園編集委員会編集 京都市動物園 2013 [57]p 寄贈

丹波マンガんじん肺と女たちの軌跡 今語られる真実の記録 草地康子編著 李順連編著 丹波マンガんじん肺記念館 2013 91p

京都フードマイスター検定公式テキスト 京都の食材に詳しくなろう! コンパス・ポイント編集 フードライセンスジャパン 2012 183p

しむらの色 Kyoto 特別展志村ふくみ志村洋子作品展 志村ふくみ[作] 志村洋子[作] 細見美術館 [2013] 72p 寄贈

八幡の歴史カルタ 八幡の歴史を探究する会編刊 2012 90枚 寄贈

〈人文〉

出版年鑑 2013-1,2 出版年鑑編集部編 出版ニュース社 2013 2冊

著作権関係法令集 平成25年版 著作権情報センター 2012 499,88p

日本労働年鑑 第83集(2013年版) 法政大学大原社会問題研究所編著 旬報社 2013 473p

法制史研究 法制史學會年報 62 法制史学会 成文堂(発売) 2013 5,332,103,8p

岩崎文庫貴重書書誌解題 7 東洋文庫日本研究班編纂 東洋文庫 2013 4,259p 寄贈

東日本大震災の記録 宮城県志津川高等学校宮城県志津川高等学校[編]刊 2013 160p 寄贈

探検!発見!関西の近代化遺産 ふるさと関西を考えるキャンペーン38年 明治安田生命保険相互会社大阪総務部関西を考える会 2013 86p 寄贈

神仏習合の歴史と儀礼空間 嵯峨井建著 思文閣出版 2013 9,405,13p

奈良時代の政争と皇位継承 木本好信著 吉川弘文館 2012 7,236,7p

近世米市場の形成と展開 幕府司法と堂島米会所の発展 高槻泰郎著 名古屋大学出版会 2012 3,403p

昭和、その動乱の時代 議会政治の危機から再生へ-特別展 衆議院憲政記念館編刊 2012 79p 寄贈

金沢北条氏編年資料集 永井晋編 角田朋彦編 八木書店古書出版部 2013 26,568,99p

江戸の旅 たどる道、えがかれる風景 仙台市博物館編刊 2012 175p 寄贈

会田誠 天才でごめんなさい 会田誠著 森美術館編 青幻舎 2013 247p 寄贈

最後の文人會津八一の世界 相国寺承天閣美術館新潟市會津八一記念館交換展京都展 會津八一記念館・早稲田大学會津八一記念博物館編 新潟市會津八一記念館 2012 126p 寄贈

東京国立博物館図版目録 インド・インドネシア染織篇 東京国立博物館編刊 2013 238p 寄贈

詫磨派研究 藤元裕二著 藝華書院 2012 24,283p

大エルミタージュ美術館展 世紀の顔・西欧絵画の400年 千足伸行監修 日本テレビ放送網[ほか]編刊 2012 269p 寄贈

AFRIKA WAR JOURNAL 亀山亮著 刊 リトルモア(発売) 2012 101p

交差する表現 工芸/デザイン/総合芸術 京都国立近代美術館編刊 2013 239p

〈官庁〉

日本国勢図会 日本がわかるデータブック 2013/14 矢野恒太郎記念会編刊 2013 542p

科学技術白書 平成25年版 文部科学省編 松枝印刷 2013 8,344p

ものづくり白書 2013年版 経済産業省編 厚生労働省編 経済産業調査会 2013 13,307p

家計調査年報 家計収支編 平成24年 総務省統計局編刊 2013 521p 寄贈

独立行政法人総覧 平成24年版 政策評価・独立行政法人評価委員会編刊 [2013] 623p 寄贈

総合農協統計表 平成23事業年度 農林水産省経営局協同組織課編刊 2013 251,4p 寄贈

京都府統計書 平成23年 京都府政策企画部調査統計課編刊 2013 428p

災害時における生活必需品及び応急復旧資材の調達先一覧表 京都府編刊 2013 71p

京都府児童生徒の健康と体力の現状 平成24年度 京都府教育庁指導部保健体育課編 京都府教育委員会 2013 84p

京都市水道百年史 叙述編 京都市上下水道局編刊 2013 3,505p 寄贈

全国大学まちづくり政策フォーラムin京田辺報告書 第7回 「全国大学まちづくり政策フォーラムin京田辺」実行委員会[編]刊 2013 94p 寄贈

舞鶴市文化振興基本指針 舞鶴市[編]刊 2013 40p 寄贈

■文書資料(新しく公開する資料)

松浦町文書 京都市中京区松浦町(岩上通り四条上ル)の町内会が保管していた町文書。享保8年(1723)~昭和15年(1940)。46点。

近世期のものは「町式目儀定」(享保8年(1723)~慶応3年(1867))「町役連判」(寛政9(1797)~明治7年(1874))「町什物」(寛政10年(1798))等、所司代・町奉行からの定書、町内の取決、町内家屋敷の確認、町役の職務と名前等、町の状況を知ることのできる資料がまとめられている。また明治以降の文書は、土地・家屋敷に関する情報(「買得帳」「土地台帳」)、住民に関する情報(「印鑑簿」)等の町の基本資料が保管されているが、併せて「共同組合規約」「衛生組合規約」等に町に新しく転入した住民の署名捺印が継続的に追

加記録されており、町が変化する様子を把握することができる。他に、町に対する感謝状等がある。寄贈。

中路家旧蔵資料 葛野郡郡(こおり)村(現京都市右京区西京極東衣手町)の中路家に伝来した資料。元和2年(1616)～明治44年(1911)。73点。

中路家は中世は地域の土豪、江戸時代からは郡村の庄屋役等を務めていた旧家。概要は以下の通りである。①郡村に関する文書 元和2年(1616)の用水に関わる替地一札ほか証書類、領主である持明院が村に年貢の前借りをする証文、明治36年度京極村議会議案書等。8点。②中路家に関わる文書 家系図・葬式香典帳等。9点。③細野家の商売等に関わる文書 文久3年(1863)「大垣様御上京一件記録」、大垣藩・小浜藩等への金の融通証文等。5点。細野家は中路家の縁戚で掛屋(諸藩の生産物の売却や金融に応じる商人)を営んでいたと思われる。④上妙覚寺町文書 文政2年(1819)御聞濟条目并定式目、天保14年(1843)御触書写。2点。⑤信仰および和歌・書等の教養美術品 19世紀初頃の細野長方は歌人田山敬儀等と交流があり、その時期の和歌・書が多く残されている。ほかに松ヶ崎壇林本涌寺交名がある。44点。⑥手習本 5点。寄贈。

井上敏雄氏特許関係資料 井上敏雄氏の特許や発明に関する書類を中心とした資料。明治21年(1888)～大正5年(1916)。22点。

井上敏雄氏は福井県・宮内省勤務を経て明治21年に退職後、特許代願人(特許申請の手続きを代行する職業、弁理士)や翻訳業、自らが発明開発した製品(煙草・薬剤)の販売等、多角的な活動を京都・東京・兵庫(特に出石郡)と広範囲に行っていた。資料には初期弁理士業に関する資料や特許を宣伝文句とした商品広告等が含まれる。寄贈。

古文書相談 歴史資料課 ☎ 075-723-4834

友の会事務局から

- 現地見学会を11月に開催する予定です。
- 堂本印象美術館に会員証の提示により、割引料金で入館できるようになりました。
(詳しくは、事務局からのご案内をご覧ください。)
- 今年度は、総合資料館開館50周年記念事業への協賛をしておりますので、多数の皆様がご参加いただきますようお願いいたします。

日誌(平成25年6月～8月)

- 7.1(月)～7.31(水)
総合資料館50周年特別展示第2部のリクエスト募集
- 7.11(木)～9.10(火)
総合資料館50周年記念ミニ展示 第1期「平成で25年 世相を所蔵資料でふり返る」
- 7.14(日) トークセッション「新資料館に期待する」
- 8.1(木) 寺子屋講座「夏を涼しく!京うちわ」

利用案内

休館日 祝日法に規定する休日、
毎月第2水曜日、資料整理期、
年末年始(12月28日～1月4日)
〔10月～12月の休館日〕
10月9日(水)、14日(月・祝)
11月4日(月・振)、13日(水)、23日(土・祝)
12月11日(水)、23日(月・祝)、
12月28日(土)～1月4日(土)

開館時間 午前9時～午後4時30分

交通 京都市営地下鉄烏丸線・北山駅下車
市バス④、⑧・北山駅下車
京都バス④⑤、⑥・前萩町下車

ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/>

発行 京都府立総合資料館

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-4

京都府立総合資料館友の会(振替 01030-2-11991) TEL. 075-723-4831 FAX. 075-791-9466

○本誌に対するご意見・ご感想などを当館庶務課までお寄せください。

再生紙を使用しています。